ゆめクラブ大和

対話と笑顔で
明日を開こう

第83号

■ 令和５年７月25日発行 ■

発行：大和市シニアクラブ連合会
〒242-0004 大和市鶴間1丁目25番15号
（大和市役所第2分庁舎内）
☎046（260）5654（代）

編集・印刷　㈱博報社関東本社
神奈川県厚木市愛甲1-8-39
☎046（280）6001（代）

創立60周年記念号

2023 河口湖ハーブフェスティバルと甘みのある美味しいさくらんぼ狩り

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

ゆめクラブ大和 創立60周年にあたって

大和市シニアクラブ連合会　会長　菊池　信良

大和市シニアクラブ連合会（大和市老人クラブ連合会を改称）（愛称 ゆめクラブ大和）が創立60周年を迎えました。

60年間半世紀以上にわたり活動を続けてこられたのも、ひとえに歴代会長をはじめ役員と会員各位のご尽力と関係者各位のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

昭和38年4月に11クラブ600余名の会員をもって設立された連合会ですが、50周年時に89クラブ5318名であった会員数が、60周年を迎えた今日時点で64クラブ2700余名へとクラブ数・会員数ともに大きく減少し、会員拡大が喫緊の課題となっています。その原因としては、新しい会員の加入が少ないこと、会長のなり手がなく解散や休会に追い込まれるクラブが増えていることなどです。

この現状をどう打破するか、会員数を増やすためにはどうしたら良いか、皆さんと一緒に考えてまいりたいと思います。

さて、この3年余は新型コロナウィルスという人類がかつて経験したことのない感染症により、ゆめクラブ大和も年間事業の殆どを中止せざるを得ない状態になりました。

ゆめクラブ大和や単位クラブの行事や活動を通じて「大勢の仲間が増えた」「いろんな人と会話して勇気と元気をもらった」「スポーツ大会・グラウンドゴルフ大会・健康講座を通じて健康になった」といった多くの声を聞くにつれ、シニアクラブが果たす役割は大きなものがあると思っています。

楽しい「趣味活動」、いきいき「健康づくり活動」、高齢者が交互に支える「友愛活動」、きれいな安心安全な地域を子どもたちへ「奉仕活動」など、私たちが出来ることを少しずつやっていくことが大きな力となっていくと思います。

これからも「ゆめクラブ大和」大和市シニアクラブ連合会の発展のため、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新市長就任のご挨拶

大和市長　古谷田　力

令和5年4月に行われた市長選挙において、皆様からのご信託をいただき、第18代大和市長として市政を担うこととなりました。こうしてご挨拶できることを、大変光栄に感じると同時に、課せられた使命と責任の重さを実感し、身の引き締まる思いです。

貴団体におかれましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、活動が制限される中、創意工夫を凝らした地域の見守り活動やウォーキング大会を企画するほか、多方面においてご活躍いただいていることに心より感謝申し上げます。

さて、本市の高齢化率（23・9％：2022年4月時点）は、全国平均（28・9％：2022年4月時点）よりも低い値ですが、2025年には戦後生まれのいわゆる「団塊の世代（1947～1949年生まれ）」の方々が75歳を迎え、その後、2040年には「団塊ジュニア世代（1971～1974年生まれ）」の方々が65歳を迎えることから、本市の高齢化率は今後も増加することが見込まれています。そのため、従来の取組だけではなく、これまでにも増して目まぐるしく変化する環境に対応した取組が求められています。

本市では、このような状況のなかで、市民が自分らしくいきいきと暮らし続けられるように、地域において生活上の課題を住民同士の支え合いで解決する仕組みづくりについて話し合う場である「協議体」の設置を各地区で進めております。この取組を進めるにあたり、友愛チーム活動等の各地域に根付いた活動を行われている単位クラブ、そして貴団体からのご支援、ご協力が欠かせないものとなっております。

今後も地域における皆様の活動を支援できるような施策を充実させ、多くの方が支える側として活躍し、生きがいを感じながら、いきいきと生活し、幸せを実感できるような取組を実施して参りますので、本市福祉行政へのご協力を賜りますことをお願い申し上げます。

最後になりますが、ゆめクラブ大和の益々のご発展と、会員皆様方のご健康とご多幸を心から祈念いたしまして、市長就任の挨拶と代えさせていただきます。

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

令和５年度 表彰式典および総会開催

５月24日㈬午後２時より、シリウス１階サブホールにて、ゆめクラブ大和表彰式典および総会が開催されました。

第１部の表彰式典では、特別表彰（理事）として14名、特別表彰（友愛チーム代表者）として１名、功労表彰として８名、一般表彰として37名が表彰されました。

第２部の総会では、令和４年度事業報告、一般会計収入支出決算、友愛チーム特別会計収入支出決算、福祉募金特別会計収入支出決算についての報告および会計監査報告が承認されました。

続いて、役員選任および連合会規約の一部改正についての議案が出され、令和５年度事業計画案、一般会計収入支出予算案、友愛チーム特別会計収入支出予算案、福祉募金特別会計収入支出予算案についての議案がすべて承認され、閉会となりました。

令和５年度 大和市シニアクラブ連合会役員名簿

【会長・副会長等】

役職名	クラブ名	会長名
会　　長	せぴあの会	菊池　信良
副 会 長	第二喜楽会	伴　　勝義
副 会 長	札の辻クラブ	角川　信雄
副 会 長	花みずきの会	熊谷　順子
会　　計	第三寿楽会	岡松　弘純
監　　事	中央四丁目豊友会	叶　　森統
監　　事	谷戸頭さくら会	前場　洋子
総務部長	冨士美会	石川　創一
副 部 長	粋生クラブ	菅原　正彦
副 部 長	中福田福好会	大滝　昌司
事業部長	第一つきみ野会	駒井　壽明
副 部 長	桜森クラブ	家所　良征
体育部長	柳和会	髙橋　洋一
副 部 長	中央林間西寿楽会	渡邉　　忠
女性部長	第一大鶴会	太田　恵子
副 部 長	山谷双葉会	天野　栄子
友愛チーム会長	花みずきの会	熊谷　順子
常務理事（事務局長）	市シニア連事務局	財津　保真

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

創立60周年にあたって

元大和市老人クラブ連合会会長
きずなクラブ　斉藤　武志

昭和38年に『老後の生活を豊かなものとし明るい長寿社会の実現に貢献する』ことを目的として結成された大和市老人クラブ連合会は令和2年に「大和市シニアクラブ連合会」と名称を変更し、新たな気持ちで活動中のところ、令和5年で結成以来、60周年の記念すべき年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

なお、これまで老人クラブ連合会の発展にご尽力くだされた、歴代会長、役職員の皆様をはじめ、会員各位の熱心な活動に深く敬意を表します。

さて、時代は急速に高齢社会へと進みつつありますが、全国的に老人クラブ、そして入会加入者の減少が続いている現状があります。

特に60歳代から70歳代の加入者が少ない現象が心配です。定年延長や価値観の多様化等、それには色々な要因があると思われますが、この際丁寧にその対応策を検討推進しなくてはならないかなと思います。

その大事な時期に、社会的な問題として新型コロナウイルスの感染拡大という異常事態の発生ですね。約3ヶ年という期間、一切の活動が停止し、社会的に大きな影響を及ぼしたことは、計り知れないことでした。

どうにか、コロナ禍もようやく全面、規制解除となりましたので、これからねばり強く、会員減少とクラブ解散等の防止策、シニアクラブ連合会共々英知をしぼり、元気な高齢者の社会参加を求めて、前向きに進みましょう。

そして、魅力あるクラブづくりと、高齢者の保健福祉の発展に向けて、60周年を契機にさらに飛躍しましょう。

おわりに、会員の皆さんのご多幸を祈念しまして、お祝いのことばと致します。

大和市シニアクラブ連合会　単位クラブ現況（結成年月日順）

現存期間基準日：2023年4月1日（令和5年）

クラブNo.	クラブ名	結成年月日	元号	現存期間（年）	友愛設立	解散・休会 年 月 日	存続期間（年）	備考
40	第一西南クラブ	1961年3月31日	S36	62	○			
17	さくらぎ会	1961年4月10日	S36	61	○			
44	代官寿会	1961年7月1日	S36	▲		2015年4月25日	53	
10	上和田明和会	1962年3月4日	S37	61				
68	みよし会	1962年3月25日	S37	61				
75	久友会（旧・老和会）	1962年4月18日	S37	60	○			
21	宿喜楽会	1962年6月20日	S37	60	○			
45	高砂会	1962年9月15日	S37	60				
34	公所公寿会（第一公寿会）	1962年9月29日	S37	▲		1991年3月31日	28	
33	第二喜楽会	1963年4月1日	S38	60	○			
59	福寿会	1963年5月25日	S38	▲		2021年4月1日	57	
31	第一鶴寿会	1963年6月22日	S38	59	○			
8	桜友会	1963年9月15日	S38	59				
26	末広白寿会	1964年3月7日	S39	▲		2013年7月31日	49	
15	坂上楽友会	1964年5月5日	S39	▲		2018年4月10日	53	
46	たのしい会	1964年8月1日	S39	▲		2021年3月31日	56	
37	第一寿楽会	1964年11月15日	S39	58				
19	三笑会	1968年4月1日	S43	▲		2018年2月16日	49	
63	みどり会	1968年4月1日	S43	▲		2022年4月18日	54	
36	南林間第一寿壮クラブ	1968年10月18日	S43	54	○			
54	長和会	1968年11月16日	S43	▲		2012年4月27日	43	
61	山谷双葉会	1969年4月1日	S44	54				
73	林間栄寿会	1969年4月1日	S44	▲		2022年4月1日	53	
38	第二寿楽会	1969年8月1日	S44	53	○			
11	菊園倶楽部	1969年10月1日	S44	53				
9	上和田団地長寿会	1970年1月11日	S45	▲		2020年4月1日	50	
65	南林間南寿壮クラブ	1970年4月1日	S45	▲		2022年5月13日	52	
2	東会	1970年4月12日	S45	52				
5	一の関寿会	1970年7月15日	S45	52				
20	島津若葉会	1971年2月1日	S46	▲		2009年4月6日	38	
78	和楽会	1971年2月1日	S46	▲		2019年4月30日	48	
60	冨士美会	1971年7月1日	S46	51				
25	深和クラブ	1971年8月1日	S46	51				
13	光栄会	1971年8月21日	S46	51				
39	第三寿楽会	1971年11月1日	S46	51	○			

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

クラブNo.	クラブ名	結成年月日	元号	現存期間(年)	友愛設立	解散・休会 年 月 日	存続期間(年)	備考
27	千本桜千寿会	1972年8月1日	S47	50	○			
23	新町むつみ会	1972年11月1日	S47	50				
77	若葉会ちとせクラブ	1973年4月1日	S48	50				
3	東原さつき会	1973年6月1日	S48	49	○			
1	あじさいクラブ	1973年6月17日	S48	▲		2017年3月31日	43	
30	第二大鶴会	1973年10月11日	S48	49				
35	第二公寿会	1974年4月1日	S49	▲		2009年3月31日	34	
42	第一つきみ野会	1974年7月8日	S49	48	○			
50	中央楽友会	1975年9月14日	S50	47				
66	南林間第三寿壮クラブ	1976年6月1日	S51	▲		2008年4月1日	31	
16	桜ヶ丘親和クラブ	1976年6月13日	S51	46	○			
57	西鶴間ときわ会	1977年4月1日	S52	▲		2023年3月31日	45	
28	草柳寿草会	1978年4月1日	S53	45	○			友愛:2チーム
43	第二つきみ野会	1978年4月1日	S53	45	○			友愛:2チーム
47	中央四丁目豊友会	1978年11月1日	S53	44	○			
76	若草クラブ	1978年11月18日	S53	44				
55	中福田福好会	1979年1月1日	S54	44				
74	林間喜楽会	1979年4月1日	S54	44	○			
69	谷戸頭さくら会	1979年7月23日	S54	43	○			
48	健康クラブ福柳会	1980年4月1日	S55	43	○			
64	南鶴間クラブ	1980年11月9日	S55	42				
49	中央7丁目長寿会	1983年11月23日	S58	▲		2020年4月26日	36	
4	あやめ会	1984年3月8日	S59	39				
72	柳和会	1984年9月1日	S59	38	○			
32	第二鶴寿会	1985年4月1日	S60	38				
62	文ヶ岡クラブ	1985年4月15日	S60	37	○			
71	百合ヶ丘五月会	1985年7月24日	S60	▲		2008年4月1日	22	
14	境川睦会	1988年1月1日	S63	▲		2001年4月1日	13	2001解散→2005№87
12	グリーンクラブ	1988年4月1日	S63	35				2013解散→2016復帰
53	長寿鶴間会	1988年4月1日	S63	▲		2019年3月31日	30	
29	第一大鶴会	1989年4月1日	H1	34	○			
51	中央林間西寿楽会	1990年5月15日	H2	32	○			
58	はづき会	1990年8月1日	H2	▲		2013年3月31日	22	
24	新和会	1992年4月1日	H4	31	○			
52	中央林間東寿楽会	1992年4月1日	H4	31	○			

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

クラブNo.	クラブ名	結成年月日	元号	現存期間(年)	友愛設立	解散・休会 年 月 日	存続期間(年)	備考
22	松寿会	1995年3月25日	H7	28				
70	柳橋一丁目柳和会	1995年3月27日	H7	▲		2021年4月1日	26	
6	銀杏会熟年クラブ	1995年7月1日	H7	▲		2021年4月1日	25	
67	南林間西北クラブ	1996年4月1日	H8	27				
79	札の辻クラブ	1998年4月1日	H10	25	○			2013休会→2015復帰
80	コトーえんゆう会	1998年4月1日	H10	25				
81	老成会	2000年4月1日	H12	▲		不明		
81	東原クラブ	2000年4月1日	H12	▲		2021年4月1日	21	
82	下和田友和会	2000年4月1日	H12	▲		2010年3月31日	9	
41	桜森クラブ	2001年4月1日	H13	22				
83	大和原友和会	2001年4月1日	H13	▲		2019年4月1日	18	
84	宮久保クラブ	2001年4月1日	H13	22	○			
14	深見中原寿会	2002年4月1日	H14	21				
18	花みずきの会	2002年9月2日	H14	20	○			
85	長堀長和会	2003年4月1日	H15	20	○			
86	西南むつみ会	2004年12月1日	H16	▲		2022年3月31日	17	
87	境川クラブ	2005年1月1日	H17	▲		2022年4月1日	17	
88	善光明ジャンプ会	2005年4月17日	H17	17				
89	きずなクラブ	2005年5月28日	H17	17				
90	坊の窪ゆめクラブ	2006年1月28日	H18	17				
91	山王原上喜楽会	2006年3月16日	H18	17	○			
92	なごみの会	2006年9月16日	H18	▲		2016年4月25日	9	
93	招福会	2007年4月1日	H19	▲		2022年4月1日	15	
94	鶴西クラブ	2009年4月1日	H21	▲		2018年1月18日	8	
95	せぴあの会	2010年4月1日	H22	13	○			
56	夢クラブ要石	2011年4月1日	H23	12				
96	パレス・カトレア会	2015年7月1日	H27	▲		2022年4月1日	6	
7	健康クラブ	2016年4月1日	H28	▲		2022年4月1日	6	
97	粋生クラブ	2016年6月1日	H28	6	○			
98	大和南友遊クラブ	2017年4月1日	H29	▲		2021年4月1日	4	
99	大和オールスターズ	2017年4月1日	H29	▲		2018年12月13日	1	
100	島津あゆみの会	2017年7月1日	H29	5	○			
大和市シニアクラブ連合会		1963年4月1日	S38	60				
現存クラブ数　64			解散クラブ数　38 友愛設置クラブ数　35					

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

春の親睦旅行

令和5年6月25日㈰

富士には「ラベンダー」がよく似合う

今回の日帰り春の親睦旅行は、富士の絶景とラベンダーの鑑賞、ハーブの香りに癒やされるのをテーマにしました。富士の雄姿は雲に隠れて拝めませんでしたが、感性豊かな参加者の皆さんは、咲き誇る紫色のラベンダーを背に裾野まで広がる雄大で優美な富士を心にイメージし、感動を持ち帰ることができました。

普段は足腰を気にすることが多い私たちが、仲間と一緒に旅をすると足取りも軽くなります。旅が好きな人は「年齢よりも若く見られる」そうです。確かに、外向きで、好奇心が旺盛なことの表れで、それが健康長寿に寄与しているのでしょう。

（事業部長　駒井　壽明）

第22回グラウンド・ゴルフ大会

令和5年6月1日㈭

男子の部	クラブ名	氏　名
優　勝	善光明ジャンプ会	鍵山　寛
準優勝	八戸頭さくら会	吉本　睦夫
第３位	第一鶴寿会	田口　博
特別賞	第一西南クラブ	野尻　浩孝
	グリーンクラブ	北島　憲一
	深見中原福寿会	桜川　武治
	草柳寿草会	中村　勝
	草柳寿草会	星　勇
	高砂会	持田　光雄
	善光明ジャンプ会	徳永　忠生

女子の部	クラブ名	氏　名
優　勝	桜ヶ丘親和クラブ	柴田　淑子
準優勝	さくらぎ会	小菅満里子
第３位	南林間第一寿壮クラブ	小川　朝子
特別賞	第一つきみ野会	宮村　幸子
	長堀長和会	花井　政江
	長堀長和会	鬼頭えい子
	千本桜千寿会	斎藤　敦子
	高砂会	大久保スヅ子

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

健康講座

こころと身体の調和をめざして "健康寿命を延ばそう"

令和4年12月12日　シリウスサブホール

女性部長　太田　恵子

今回の講座は、県央ブロックゆめクラブ大学として開催、県央ブロック（座間市・綾瀬市・海老名市・厚木市・愛川町・清川村）の代表の皆さまも参加され84名でした。講師は、（財）日本体育協会 公認スポーツ指導員 鴨下禎子先生です。解説資料もあり、とても充実した講座となりました。

資料に紹介されたシルバー川柳に
「お辞儀して　共によろける　クラス会」
などとありますが、どんなに平均寿命が延びても健康で長生きでありたいものです。

また「起きたけど　寝るまで特に　用はなし」
ともならないようにしたいですね。

統計で見ますと、平均寿命から健康寿命を引くと男性は約8.7年、女性は約12年残ってしまうそうです。8年から12年も介護され続ける自分を想像してみてください。その健康寿命を延ばしたい‼ 私たちの願いです。

さあ！体操しましょうといつものように楽しいトークと音楽とともに椅子に座ってもできる体操を教えていただきました。右手を左鎖骨の上に置き、左腕をグルリと動かす！反対側も同じように！これ、気持ち良かったですよ。

誌上では再現出来ませんので、次の講座にぜひご参加ください！終わって座間の方にお聞きしましたら、大変勉強になったとの感想をいただきました。鴨下先生、ご参加の皆さま、ありがとうございました！

※私から一句
「講座あり　寿命も延びる　ゆめクラブ」

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

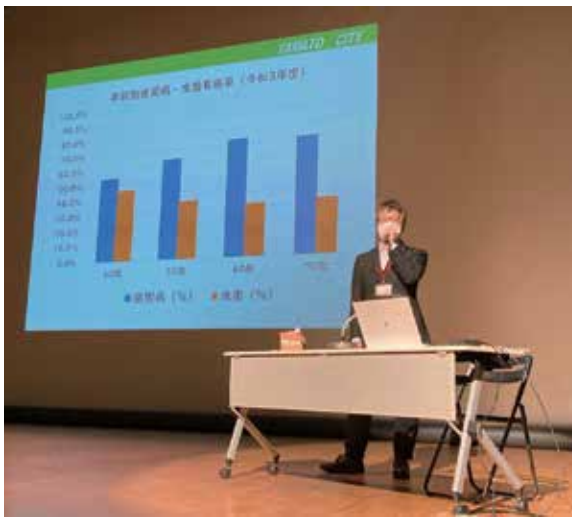
令和4年度県央ブロックゆめクラブ大学・ゆめクラブ大和友愛活動等支援事業

令和5年2月22日㈬、ゆめクラブ大和友愛活動等支援事業が県央ブロックゆめクラブ大学（2回目）と併せシリウス・サブホールで開催されました。参加者156名。県央地区からは厚木市、海老名市、綾瀬市、愛川町からご参加いただきました。

高齢者に大切な口腔ケア

第1部のテーマは「お口から始める健康づくり」。講師は大和市医療健診課保健師の澤田紘充さん。パワーポイントを使ってのお話はわかりやすく、歯周病と高齢者の血管の病気（狭心症・心筋梗塞、脳卒中・脳梗塞など）や気管支炎・肺炎は関係があること。大和市では毎月8日を「歯の日」と定めており、歯磨きや歯ブラシ交換など高齢者にとって大切な口腔ケアのお話でした。災害時は口の健康が後回しにされがち、口の中を清潔に保つことが肺炎を防ぐためにも大切とのことでした。最後に8020運動を目指そう、かかりつけ歯科医院をもち定期的に受診すること、大和市の歯及び口腔の健康づくり推進条例と推進計画の取り組みの紹介がありました。

大切な口腔ケアの推進に向けて、ぜひ単位クラブの学習会テーマで取り上げましょう。



楽しい時間を過ごしました

第2部は本場ハワイの歌とフラダンス。「本場」に心ひかれた方は多かったのではないでしょうか。出演者はロバーツ・パレマ&クミご夫妻と仲間のみなさん。ご夫妻はハワイで長い間フラやポリネシアンの伝統文化を学び現在は鎌倉の七里ヶ浜で教室を主宰されています。プログラムの前半は古典フラの紹介。力強い音楽と踊りで目を見張りました。ハワイの八つの島やクミさんの夫パレマさんはマウイ島のミュージシャンであること、楽器の紹介もありました。後半は私たちが良く知る優雅なフラダンス、仲間の皆さんの素敵なドレスや切れのよい踊りに和みました。アンナちゃん（小学校1年生）の登場にはつい目がいき愛らしく見事で堂々の踊りにびっくりした方が多かったのではないでしょうか。クミ先生によるとアンナちゃんは「何よりもフラダンスが大好き」だそうです。

体験コーナーでは「地引き網」のスタイルでとフラの手ほどきがあり客席の皆さんも楽しく参加ができました。足と手が思うようには動きませんでしたが楽しい時間を過ごすことができました。

アロハ（aloha）

（副会長・熊谷順子）

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

令和4年度第2回ゆめクラブ大和友愛研修会

令和5年2月15日㈬、令和4年度第2回ゆめクラブ大和友愛研修会は「持続可能な友愛チーム活動のために“大切なこと”」をテーマにシリウス会議室で開催されました。参加者は市内友愛チームのメンバー52名。

今回の研修会は、第1回（昨年7月）に実施したアンケートで今後の研修会への要望が多い「活動の情報交換や交流をしたい」「話し合う場がほしい」をもとに、話し合いをメインに設定しました。

当日のプログラムは、友愛チーム活動のイメージを参加者で共有できたらと県内の友愛活動をまとめたDVDの視聴、次に1クラブ1チームを目標にしている藤沢市の明治友愛チーム代表の小島征子さんから「明治友愛チームの活動～自分のできる範囲で支え合うこと」をテーマに事例発表がありました。

自分のできる範囲で支え合うこと

明治友愛チーム（藤沢市）代表　小島　征子

明治友愛チームの結成は昭和63年10月。現在の活動内容は、主に一人暮らし高齢者の訪問と介護施設への訪問。在宅訪問は2か月に1回ほどで、「雨戸が開かない」「電気がつかない」などのさりげない見守りや「話を聴く」ことを大切にしています。顔がつながっていることで困っている際の相談があり、情報提供も多い。施設訪問では1時間ほどの楽しいひとときをおしゃべりや歌で過ごし、私たちの生きがいにもつながり元気をいただいているとのことでした。

自分たちにできることを無理せず、同時代に生きてきた人に感謝をしたい、と締めくくられました。話し合いは、7つのグループで行われました。概要をご紹介します。

グループの話し合いから出された提案や課題

●活動の紹介と提案、困っていること、感想

・コロナ禍で活動を中止せざるをえなかった（意見が多かった）
・80歳以上の一人暮らしの方を対象にサロンを開催
・月1回の楽しむ会（歌、踊り、体操など）を実施
・クラブを辞める人や活動に参加できなくなった人への対応
・認知症予防には健康麻雀が良い
・男性が楽しめる企画は何かないだろうか
・事例はとても参考になり、気が楽になった

●友愛チームについて

・回覧が止まり訪問、骨折し動けず脱水症状で危なかった事例、安否確認や友愛チームの必要性を感じた
・友愛チームメンバーの後任がいない
・友愛チームを知らない人が多い
・友愛活動と友愛チームの活動をどう位置づけたらよいだろうか
・友愛チームの代表者会議を実施してほしい

最後に福地賢一県老連事務局長から「これからへの提案」をいただきました。

私たちの生活をどう継続していくのか。もう一度問い直したい。

団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる2025年問題を近く迎えようとしています。認知症や一人暮らしの方が増えて、地域での支え合いや友愛チームの活動は益々人事になると考えられ、神奈川県老人クラブ連合会では、令和5年度の重点目標の一つに、“全単位クラブに友愛チーム”を掲げています。国連ではSDGsという地球全体の課題解決に向けた目標を掲げていますが、私たちも、地域のコミュニティや生活をどうしたら継続していけるのか、老人クラブ活動を通して問い直していければと思います。

余談ですが、神奈川県にお願いし、外国籍の高齢者の皆さんに向けて老人クラブを紹介する記事を“こんにちは神奈川”の機関紙に掲載してもらいました。県内には外国籍の県民も多く暮らしています。加入の問い合わせがありましたらよろしくお願いします。

［資料］大和友愛チームの状況
（令和4年度友愛チーム事業報告より）

①単位クラブ数と友愛チーム数

年度	単位クラブ数	友愛チーム数
令和3年度	73クラブ（37%）	27チーム（2クラブが2チーム結成）
令和4年度	65クラブ（51%）	33チーム（2クラブが2チーム結成）
令和5年度	64クラブ（58%）	37チーム（2クラブが2チーム結成）

②主な活動分野

1.在宅訪問（声かけや話を聴く、情報提供等）27チーム（80%）
2.サロン（お茶会等）　25チーム（72%）
3.施設訪問　7チーム（5%）

（友愛チーム連絡協議会会長・熊谷順子）

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

クラブ紹介

楽しいサロンとは

草柳寿草会　高橋　正広

今年の4月から草柳友愛チーム(草柳サロン)代表が、中村勝氏から私高橋正広に代わりました。平成17年に発足したチームです。発足した当時と現在では高齢者の考え方が変わりつつあると私は思います。かつては高齢者がたくさん集まり老人会を構成し、サロンにもたくさんの方が参加されました。しかし現在は草柳サロンに参加される方が減りつつあります。集団で楽しむよりおひとりで楽しむ価値観に変わったのでしょうか?

リーダーとして不慣れな私ですが、サロンに参加する対象者の方だけでなく、友愛チームの皆さんにも楽しくやり甲斐が持てるサロンにしていきたいと思います。

具体的には、毎月のレクリエーションに変化を持たせること、参加される方皆さんが一言は発言すること、対象者の方が何を望んでいるかを知ること、笑顔が出ること、冗談が言えること、元気が出て次回のサロンが楽しみになること、以上のことに心がけていきたいと思います。そのためには、チームの皆さんとよく話し合い、お互いが納得して活動できる体制を作るように代表者として頑張りたいと思います。

活力の源

桜ケ丘親和クラブ　臼居　茂子

大和市シニアクラブ連合会60周年記念おめでとうございます。年間を通し数々の講座により活力を頂いております。

当桜ヶ丘親和クラブは昭和51年に発足し、現在104歳の男性会員を筆頭に男性38名、女性58名の会員で構成されています。行事として、毎月国道沿いの桜並木歩道の清掃及び周辺の草取り等を行い、桜の落葉のシーズンには大量の葉が集められ、また道守サポーターズと称し町内会とのコラボにより歩道の花壇には四季折々の花々を苗または種から生育され植栽し、道行く人々の目と心の癒しの場となるようより良い街づくりを心掛け活動しております。今年3月には市より「街づくり賞」を受賞致しました。

しかし、当親和クラブも年々高齢化し従来参加できていた方が現在は参加できず見守られる立場となり寂しさも覚えております。

毎月の土曜サロンでは誕生日を迎えられた会員には記念品が配布され、感想を述べて頂き、またこれからの有り様なども発表して頂いております。その後趣味の講座では、苦手とされている方でも作品づくりに真剣に取り組むことで完成の喜びを味わい大変有意義な時間を過ごし、またゲームやニュースポーツでは皆の声援や拍手により一層活力が与えられ、心地良い汗を流し和気あいあいの楽しいひと時を過ごしております。

グラウンドゴルフ部は体力増進のため厳しい寒暖の中でも練習を行い、年1回未経験者を交え40人程で大会が開催され会員の活力の源となっております。

私達はお互い共助の精神で日々楽しく明るく暮らせるよう活動しております。

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

神奈川県高齢者居場所づくり等継続支援事業協力金を活用した友愛チーム活動の継続と活性化への取り組み

令和5年5月3日　花みずきの会　棟長　壽雄

「花みずきの会」では、新型コロナ感染症や物価高での影響により停滞した友愛活動の継続と活性化の為、「神奈川県高齢者居場所づくり等継続支援事業協力金」に応募したところ協力金の支援を受けたので、その資金を活用した取り組みを紹介します。

友愛チームの活動は、週2回の「ラジオ体操」や毎週火曜日の「買い物困窮者支援の野菜販売」、月1回の「みんなの居場所ふれあいサロン」が主な継続事業ですが、支援事業協力金を活用してコロナ禍でも高齢者が集まって交流できる場所として屋外で、車椅子や徒歩で参加することが出来る近所の「泉の森ふれあいキャンプ場」でのバーベキュー大会を昨年の秋（11月）と今年の春（3月）の2回実施しました。秋の木漏れ日や、桜の季節に、森の自然の中での飲食を楽しみながらみんなで話す時間は、とても心地よく、穏やかな雰囲気に包まれた楽しいひと時でした。

又、集会所に大型の液晶テレビを購入しての毎月１回の映画観賞会も人気企画の一つです。小津安二郎監督作品の「東京物語」、「秋刀魚の味」、「彼岸花」を上映しました。時代背景が私達世代と同じで共感できる物語で毎回大きな感動と拍手に包まれます。

協力金を活用して今までの事業の上に積み重ねる形で高齢者が集まって交流できる場所を提供することで、コロナ禍で薄くなった地域社会のつながりを取り戻すことができました。

泉の森バーベキュー大会

映画鑑賞会

第3ブロック共同事業「ボイストレーニングと健康づくり」ひばりの会へのお誘い

花みずきの会　荒井　一郎

私どもひばりの会は、令和元年度（2019年）にゆめクラブ第3ブロックの共同事業として、講師西口則子（ソプラノ歌手・大和市音楽家協会会員）さんを迎えて「コミセン西鶴間会館」にて「ボイストレーニングと健康づくり講座」の活動を開始しました。

活動は月2回のボイストレーニングと公開講座＋ミニコンサートや西鶴間会館のコミセン祭りに参加するなどでした。ひばりの会ではユニホームとして緑色のTシャツを作り発表会では着用しています。

ボイストレーニングの中でも手話で歌う「花は咲く」は歌詞＋手話を覚えるの2種類の動作で毎回頭の体操（声を出すと手がおろそかになり、手話をすると声が小さくなる）を繰り返しており、「野ばら」を原語（ドイツ語）で歌う時はてんやわんやで、西口さんも会員の皆さんも楽しんでおります。

コロナ禍で一時活動停止状態になりましたが、令和4年度（2022年）は大和市自治連主催の自治会セミナー2月にアトラクション参加し手話「花は咲く」をシリウス大ホールで披露、気分は大歌手…。

また、この3月には公開講座として「春をよぶミニコンサート」を西鶴間会館で開催し多くの方（35名）の参加をいただきました。

現在は月1回のボイストレーニング（参加費：千円／回）に西口さんの歌を聴かせていただくことや懇談会など、楽しさを大切にして目標を**「歌唱を通してアンチエイジング」「ボイストレーニングで100歳まで元気な声を」**としております。毎回15名前後の参加です。ちなみに約20名の会員の平均年齢は傘寿を迎えるころ合いです。女性会員が主で男性会員も参加しており、男性は紅樹の森にいる気分かも？

［影の声：荒井さんの持ち味は力強い大きな声でリード、貴重なメンバーです］

会員投稿

公園再生のうらには

千本桜千寿会　坂口　芳巳

田中4号公園は福田千本桜地区最南で引地川沿いに位置し、広さは1339平米で、周囲2mの緑地帯は桜、カイヅカイブキ、ツツジ等で囲まれ、健康遊具、鉄棒、ブランコ、砂場、滑り台等があります。道路より約1m高く、災害時の一時避難場所にも指定されている場所です。しかし、残念ながら雑草がいたるところに生えているのが玉に瑕でした。

この公園を千本桜ゴルフクラブがホームグラウンドとして使用し始めたこともあり、体調を見ながら取り敢えず、コースの邪魔になる部分だけ少しずつ雑草を刈ったり、除去したり、砂を入れて頂いたりして使用し始めました。

季節も変わり木枯らしの吹くある日、寒風の吹く中見知らぬ老人がブランコ周りの雑草取りをしている様子を見かけました。それから時々見かけるようになり、しばらく静観していましたが、ある日声を掛けたところ、快く答えてくれました。頃合いをみて動機を伺ってみたら、「時間を持て余しているし、運動不足解消です。娘が孫を連れて里帰りする度にこの公園に連れてきては、滑り台やブランコで遊ばせて頂いた楽しい想い出があります。細やかですが恩返しみたいな気持ちで楽しみながらやらせて頂いております。」と笑いながら話されました。気持ちのいい方で、すっかり仲良くなりました。聞けば区外の方で名前はTさんという方でした。

昨年春頃からは、近所にお住まいのSさんが除草専用の道具を持ち込んで参戦されました。その後Tさんは見かけなくなりましたが、Sさんは一人で生えてくる雑草の除去と桜で汚れる場所の清掃を繰り返し実施されている姿を今も見かけます。お蔭で見違えるほど綺麗になり、錯覚を起こすぐらい広く感じます。

私の気のせいかもしれませんが、最近ではお年寄りや親子づれ、子どもたちの姿を多く見かけます。保育園児たちが立ち寄り1時間程利用される風景も見かけます。以前には考えられないことです。私たちゴルフクラブも楽しくプレイさせて頂いています。本当に隅々まで見違えるほど綺麗になっています。これにはTさんとSさんの善意な行為があることを忘れないようにしたいです。

遠い地の友

林間喜楽会　鏡　絹子

中学時代「中学生の友」という雑誌があった。その中に「文通しませんか」のコーナーがありました。友達が私に同じ名前の人が載っていると、教えてくれました。とても不思議に思い文通をしてみました。本当に返事が来るのだろうか…。数日して徳島県から宛名・差出人が同じ手紙が届きました。驚きと嬉しさでパニックでした。徳島県に同姓同名の方が、その上、生年月日が同年・同月・一日ちがいの妹でした。またまたお互い驚きでした。それ以来の文通は社会人になっても続き結婚前に京都旅行に母と行った時、大阪に住んでいた友と会えました。母も側で二人を笑顔で見守っていました。明るい優しい思い描いていた通りの友でした。嬉しい楽しい時間を過ごしました。

知り合い60年以上になりますが、一枚のはがきにペンを走らせる時間が大好きです。友への手紙は京都へ。霧島ツツジの美しい天満宮があるそうです。

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

〝あいさつ〟

宮久保クラブ　科内　章平

昨年末、近所の小学校創立50周年記念式典・祝賀会に多くの卒業生や関係者と共に地元自治会として参加した。幼少期を過した小学校には特別な思い入れがあるものだ。次第の中で、ある一人の男子児童が自分の思いについて発表してくれた。それは、あいさつについてであった。以前は、あいさつなんてそんなに必要なものではないと思っていたが先生と話し合ってみてあいさつの必要性を感じた。勇気を出して自分から進んであいさつをしていくと、だんだんと自分自身がなんか楽しくなるような気持ちになっていき周りの友達も元気になっていったとのこと。コロナ禍で大変な世の中であるがこんな明るい話をしてくれたこの児童に心から拍手を送った。知識のみでなく人としての生き方や考え方を、教師や大人が関わっていくことで教育という現場を通して将来に繋がる力を身に付けていっているのだと実感した。

私も、移り住んで10年近くになると、近所で生まれた〝宮久保ベビー〟達がランドセルを背に毎日元気に小学校へ通学したり、歓声を上げて遊具で遊んでいる。そんな孫のような子ども達に癒され、元気をもらっている。感心することに、この子ども達が私にあいさつをしてくれる。おはよう、こんにちは、こんばんは。中には兄妹競ってあいさつをしてくれる。なんとも微笑ましい光景である。また私が車で近所を走っていても、目が合えば、頭を下げたり手を上げたりと返してくれる。やはりうれしい。閉塞感漂うような世の中であるが私は明るいと思っている。子ども達が孤立しないでまず人と繋がるあいさつのできる大人になってほしいと願う。そして社会をもっと明るくしてほしい。私も次の世代のためにできることをやりたい。すこしでも手助けをしたい。それが、私を生み育ててくれた親や家族、支えてくれた人々に対しての恩返しだと私は思っている。

夏の暑さ我慢は熱中症

第二喜楽会　瀬沼せつ子

屋外での作業は汗ばむような陽気も増えて、動植物や虫達も活動を始めています。風の音と野鳥の鳴き声、春夏の訪れを待ちわびた季節です。生息する鳥のさえずりを聞くことが出来、植物と身近にふれるのは春夏の訪れを教えてくれ秋への道作り、大切に育てた花から種へと次の世代に繋げていけるように心の寄り所に向い合って夏の暑さにも負けないようにガンバリ、誰でも何処でも熱中症になる可能性が有る。人体の6割は血液やリンパの水分で構成されていると言われる。後の4割が筋肉で水分の貯蔵庫。筋肉不足が一因、十分な水分を貯め込む事が出来ない。脱水症状をおこしやすくなる。何歳になっても筋肉を増やして息が上がらないように食事にも注意。牛乳、チーズ、ヨーグルト、プロテイン、アミノ酸飲料を摂るようにする。自分に限って体の事はわかるから災天下に出ないから?と思っているのは大間違いです。誰でも陥ってしまう可能性がある。喉が渇かなくても一番に水分補給の習慣を心掛けましょう。塩分や糖分を含む飲料を摂ると水分の吸収がスムーズに出来、汗で失われた補給に繋がる。屋外だけでなく屋内のほうが熱中症になると言う。帽子を被ったり日陰を活用して行動するように体を冷やして予防しましょう。健康の美しさが活動に変わる。少しでも寿命を延ばしクリアな思考で人生を楽しむため食事を中心に生活習慣が近道。食事の中でブレインフードと呼ばれる脳に効く食べ物の一つで玉子の黄身に含まれているコリンが体内に入ると記憶力の学習を活発にする。B12を合わせると認知症の予防にも良い食材です。長くクリアな思考を維持し、元気で夏を乗り越えられますようにガンバル。

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

拝啓テレビさま

粋生クラブ　宮崎　汎（ひろし）

現役を退きいつの間にか外へ出かける機会が減り、楽しみはテレビだけという生活が常態化した。日頃お世話になっているテレビに今日は注文を付けるというか、憤懣をぶつけてみたい。

テレビ会社の飯の種であるCMは、最近視聴者に無理にでも見せようとする苦肉の策なのか、次の展開がどうなるかと一瞬身を乗り出す面白さの頂点で、この続きはコマーシャルの後でとなる。いつの間にか引きずり込まれていた画面から、にわかに催眠がとけ鼻白でチャンネルを変えてしまう。そして未練たらしくもコマーシャル提供のスポンサーを逆恨みして「買ってやらないぞ」などと毒づく。続きをみたくば、CMをしっかりみろなどといわんばかり。テレビやさんは余程小意地の悪い者の集まりに違いない。最近CMは気のせいか絶叫型が増えうるさく不快だ。一昔前はコマーシャルが秀逸で楽しみの番組もあったのに。この頃はCMそのものが軽薄で落ち着きないが、こんなものよしとする人種は、どんな奴かなとふと思ったりする。

情報化社会の世の中、文句をつけるこちとらが時代に取り残されているのであろうか。天気予報はいっせいにどのチャンネルでも同時刻に始まる、ニュース番組もだ、各社何故横並びなのか年配者は嘆きたい。

新聞の番組の見出しに引かれてみると、内容が羊頭狗肉あるいは詐欺まがいと言うと言い過ぎだが、がっかりすることが多い。懐かしの映画など随分カットされてしまい幻滅を感じ、見なきゃよかったと思うこともある。

登場するタレントも人材不足なのか、見飽きた顔ぶれが多すぎる。芸などと呼べるものが無いのが、いやに大物ぶって羽振りを利かせている。

お笑いやコメディアンで売っていたのが、いつのまにか視聴者に教訓を垂れお説教するのがいる。そいつが出るとお前に偉そうなことといわれたくないよ、何か抵抗感じるんだなあと画面に向かってつぶやき、ついチャンネルを回す。テレビはNHK以外見ない、民放はニュースとスポーツ番組だけだねという中高年層の友人が増えつつあるのは残念だ。情報化時代の最先端にある業界が、顧客指向とはかけ離れた仲間内指向のように感じるのである。

タレント同士の面白くもない身内の会話を、何ら関係ない視聴者がテレビの前で馬鹿みたいににやにや聞いている姿を想像すると気持ちが滅入る。芸人にすれば仲間内のつまらない茶飲み話をして、それこそ田園調布に家が建つのだとすればもはや笑いは止まらないのだろう。老境に至った身にとってテレビは貴重な社会との接点なのだがなあ。

今年のお花見

若草クラブ　西村ふみ子

たちばな苑の今年のお花見は、いつものように海軍道路、千本桜、若葉台をまわり、岡田真澄等々有名人の家を車窓から眺め、恩田川の左右から川にかぶさる桜の絶景を堪能しました。

その後特定非営利活動法人「いっぱい」の経営するカフェ「夢夢夢」に行きました。「夢夢夢」はハンディキャップのある人が働いているカフェです。そこでお昼を食べました。メニューはチキンドリア、うどん、スパゲッティ、サンドイッチで、そのうちの一つを選び、ランチのスープ、サラダ、飲み物、デザートのアイスクリームがつきました。サンドイッチをお土産に注文している人もいました。カフェで販売している手作り手芸品を買う人もいました。今年も楽しく無事にお花見を終え、皆さん満足してたちばな苑に帰宅しました。

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

『世界終末時計と地球平和監視時計』

中央四丁目豊友会　叶　森統

この地球上には世界平和を願いながら、その表示方法が全く異なる2種類の時計が存在している。そのうちの一つは実際の動く時計ではなく、アメリカ合衆国の雑誌『原子力科学者会報』(Bulletin of the Atomic Scientists)の表紙絵として使われている時計であり、もう一つは広島県広島市中区の広島平和記念資料館内に設置されている本物の動く時計塔である。

動かない方の時計は「世界終末時計(Doomsday clock)」といい、核戦争などによる人類(世界や地球と表現されることもある)の絶滅(終末)を『午前0時』とし、その終末までの残り時間を「0時まであと何分(秒)」という形で象徴的、仮想的に表した時計で、核科学者が毎年更新している。この絵は時計の9時(45分)から正時(0時0分00秒)までで表されていて、前出の会報に掲載された時間が即ち地球滅亡までの残り時間という訳だ。2022年1月号の表示は残り100秒であったが、2023年1月号ではなんと残り90秒！

2021年からは新型コロナウィルス感染症(COVID-19)の歴史的なまん延が人類滅亡の危険性リストに入ってきたが、ロシアによるウクライナ侵攻は2022年の更新には間に合っていなかった。2022年2月のウクライナへの軍事侵攻をうけて一気に過去最も短い時間に修正された。

終末時計が誕生したのは、今から75年前の1947年のことで、かつて最初の核兵器を開発した科学者たちが、人類の滅亡を午前0時になぞらえ、残された時間を象徴的に示し始めた。

この時計は毎年1月、科学者らがその時代の状況を踏まえて設定する。昨年までは3年連続で「残り100秒」と定められていた。冷戦の最中、米国人が核シェルターを掘り、子どもたちが原爆攻撃に備えて学校の机の下に隠れるように言われていた時でさえ、時計の針はここまで進んでいなかったという。

現在では、同誌の科学・安全保障委員会は、毎年時計の針をどこに合わせるかを決める際に、核の脅威だけではなく、気候変動、生物学的脅威、人工知能、地球を脅かす新たな問題等々、多くの問題を考慮している。近年は、偽情報の急速な拡散も、人類の存続を脅かす事柄のリストに加えられている。

一方の「地球平和監視時計(PEACE WATCH TOWER)」は、NPO法人である「広島からの地球平和監視を考える会」が2001年7月24日に設置し同年8月6日に除幕した。

2023年現在は「90秒前」となっている

この時計は、一番上に現在の時刻を示すアナログ時計があり、文字盤には薄く8時15分(広島の原爆投下時刻)が刻まれている。その下には2つの日数カウンターがある。一段目は広島への原爆投下(昭和20年(1945年)8月6日)からの経過日数を表し、二段目は世界で最後に核実験が行われた日からの日数が示されている。

最後の核実験からの日数は新たな核実験が行われる度にリセットされる。現在まで28回リセットされており、最後の28回目のリセットは2021年9月16日のアメリカによる32回目の臨界前核実験によるものである。

2023年4月1日現在の最長記録は2006年10月9日～2009年5月25日までの959日であったが、北朝鮮による2回目の地下核実験によってリセットされた。

地球平和監視時計設置以降、2021年9月までの28回のリセット回数の内訳は、22回がアメリカ、6回が北朝鮮、アメリカと合同で行ったイギリスが2回となっている。

ロシアが実戦投下で29回目のリセットを行わないよう切に祈るばかりである。

2017年9月3日 北朝鮮による6回目の地下核実験でリセットされて238日目の時計(2018/4/29)

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

文芸のひろば

俳句

宮久保クラブ　科内　章平
古里の若葉と言葉癒されて

桜友会　高津　花枝
「陽だまり」で会話楽しむうきうきと

桜友会　道明　和典
台風が過ぎて秋空深く澄み

桜友会　宮﨑　文夫
古民家の軒を彩る吊し柿

桜友会　吹上　禮子
さくら咲き夫（つま）の遺影とお花見へ

桜友会　大内　勝子
蒔（ま）いた種芽（たねめ）が出ず雑草繁茂する

桜友会　小嶋　勇夫
明けの道ほんのりにおう梅の花

桜友会　小高つや子
卒業式今日でお別れ6年生

桜友会　中町　富子
田も畑も深雪に埋れ春遠し

札の辻クラブ　畠山千代子
のんびりと笑顔満開さくら旅

みよし会　柳川　清春
昔酒今は病院ハシゴする

山王原上喜楽会　岩下　保
旅割で身延詣でや枯尾花

宿喜楽会　山梨　博文
ふらここや乗っている子と乗りたい子

第一つきみ野会　加藤　滋
短夜や返却図書は読み切れず

第一つきみ野会　大森　利憲
乗り継ぎて能登の墓参や草匂ふ

第二喜楽会　瀬沼せつ子
ただ一人迷いの心夜が来る

宿喜楽会　花田　恵子
たけのこが出たよと従兄弟の冷蔵便

若草クラブ　樋口　昌吉
マンホール踏まれて楽し桜狩

若草クラブ　吉田　祐三
交差点黄色い帽子響く音

若草クラブ　西村ふみ子
折り紙で紫陽花を折る雨模様

若草クラブ　鵜澤　靖
更衣箪笥（ころもがえたんす）の中は古戦場

川柳

宮久保クラブ　科内　章平
土地よこせわがまま通す北の熊

桜友会　宮﨑　文夫
最上川命を賭けた舟遊び

桜友会　熊橋　芳美
物価高家計赤字もアップする

桜友会　田中　貞子
卒寿過ぎ美人薄命私まだ

桜友会　奥村　允子
値上がりに一万（円）去ってまた一万

桜友会　小嶋　勇夫
川くだり空と川面に鯉の群れ

桜友会　大内　勝子
安売りのチラシしっかりファイルする

桜友会　甲斐　忠幸
国産の横綱欲しい大相撲

札の辻クラブ　畠山千代子
サンルーム卒寿の読書船をこぎ

山王原上喜楽会　岩下　保
餅食べて餅に取られし総入れ歯

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

宿喜楽会　山梨　博文
マイナカード任意のふりして「堀」うめる

若草クラブ　森　美枝子
血糖値気になりつつもあんぱんパクリ

若草クラブ　鵜澤　靖
優勝だWBC日本チーム

千本桜千寿会　安部　典子
ホームラン打って兜の緒を締める

善光明ジャンプ会　東山　和彦
飼い主は犬に引かれてお散歩よ

善光明ジャンプ会　鍵山　寛
愛煙家国防軍の仲間入り

短歌

宮久保クラブ　科内　章平
残雪と友の笑顔に迎えられ
安曇野の旅我れ満腹と

桜友会　宮﨑　文夫
賑やかな宴のあとの寂しさよ
わが人生を振り返りみる

桜友会　道明　忠子
散れば掃く掃けば散りくるさくら花
青葉公園春は過ぎゆく

桜友会　中町　富子
緑濃き田圃の蛙の声消えて
自然崩壊進む村里

善光明ジャンプ会　東山　和彦
五年後の同窓会でマスクして
来るようにとの一文があり

中央林間東寿楽会　大澤すみ子
夫と出し病院前の公園に
弾む一才帽子の群れあり

山王原上喜楽会　岩下　保
今日もまた畑みてきて昼寝して
ワイン片手に巨人戦観る

第二喜楽会　瀬沼せつ子
人の道それは無理だと一筋に
会えて良かった心で思う

宿喜楽会　山梨　博文
母の味恋しかるらむ子ら二人
母はバイクで逝きて一年

宿喜楽会　花田　恵子
五月雨をガラスの窓に聞きながら
小野小町の歌朗読す

みよし会　柳川　清春
ツバメ来る春のおとずれ家の軒
古巣修理で新居完成

編集後記

今年度の「ゆめクラブ大和」（83・84号）は、創立60周年記念ということで普段のものより増ページでお届けします。

今回は、「単位クラブの現況」など60周年にちなんだ資料も掲載しました。楽しんでいただければ幸いです。

会員の皆さんと共に作る会報です。多くの方の原稿をお待ちしております。

総務部長　石川　創一

原稿募集

次号「ゆめクラブ大和」84号に原稿をお寄せください。

★クラブ活動記、随想、旅の思い出、健康・介護に関することなど。俳句、短歌、川柳は一人各々一句または一首。

★文字数は800字（原稿用紙2枚）以内とし、写真を添付しても結構です。

★必ず、クラブ名、ご氏名を記載願います。

〈次号発行〉
2024年1月25日㈭

〈締切日〉
2023年10月20日㈮

〈応募方法〉
必ず各単位クラブの会長を通して市シニア連事務局へ提出願います。

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

思い出アルバム

令和5年度　ゆめクラブ大和 春季親睦旅行≪日帰り旅行≫

ご協賛いただいた皆様への御礼

このたびは、広報誌に広告のご協賛をいただき、誠にありがとうございます。本誌は誌面を通じて会員の交流･情報交換はもとより、地域の皆様にシニアクラブの活動をご理解いただき、一層の交流の輪を広げるため発行するものでございます。以上の趣旨をご理解いただき、引き続き広告掲載のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【大和市シニアクラブ連合会】

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています